

シネラ



芸術文化振興基金助成事業



東映映画史

特別企画

日本の大手映画製作会社の歴史を辿るシリーズ第二弾
旗本退屈男や葵新吾が活躍するチャンバラ映画で
人気を博した東映の特集

旗本退屈男

芦屋小雁「喜劇映画のすべて」 シネマトーク・ライブ



続々番頭はんと丁稚どん・チャンボン旅行

東映アニメーション

特集



白蛇伝



どうぶつ宝島



わんわん忠臣蔵

東映映画史

旗本退屈男や葵新吾が活躍する
チャンバラ映画で人気を博した東映の特集

7月6日(水)～7月24日(日) *休館日・休映日除く

観覧料:600円(大人)

500円(大学生・高校生)

400円(中学生・小学生)

*定員制・各回入替制

*チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

*障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の提示が必要)

おすすめ

冷飯とおさんとちゃん

●7月8日(金) 14:00

●7月18日(月・祝) 14:00



1965年/35ミリ/カラー/
178分/東映

監督:田坂具隆

出演:中村錦之助、三田佳子

原作は山本周五郎の「ひやめし物語」、「おさん」、「ちゃん」という三つの短編で、これを田坂監督がそれぞれに独立したオムニバス形式の映画として監督したものです。

「冷飯」は旗本の四男に生まれた、大四郎という古文書集めが趣味という変わった侍の物語。ある日街で偶然であった娘に一目惚れするが、4男ではとうてい結婚などできない。ところが大四郎が収集した貴重な古文書が殿様に認められる。「おさん」は大工の参太と女房おさんの物語。二人は惚れ合っていたが、おさんは参太に抱かれるとき別の男の名前を呼ぶという奇妙な癖を持っていた。そして参太が江戸の仕事から帰ってきた時そこにはおさんの姿はなかった。「ちゃん」は伝統的な火鉢職人の重吉と家族の物語。職人として誇りを持つ重吉だが火鉢は売れず家計は火の車だった。重吉は人の良いのだが、大酒のみで家族に迷惑をかけてばかり。そんな自分に嫌気がさした重吉は一人で家を出ようとする。

いずれの物語も江戸情緒溢れる名品で、派手なチャンバラこそ登場しませんが、人の善意と心の暖かさ、人情の機微が慈しむように描かれています。田坂監督の傑作で、三話とも中村錦之助が主演し素晴らしい演技を見せています。

新吾十番勝負・総集編

ひめゆりの塔

●7月6日(水) 14:00

●7月16日(土) 11:00



1953年/35ミリ/モノクロ/
127分/東映

監督:今井正

出演:島津恵子、岡田英次

「ひめゆりの塔」は戦時中沖縄で、勤労奉仕のために最前線に動員され死んでいった女子学生達の慰霊碑である。沖縄での戦いにおける彼女らの悲劇を通して戦争の悲しさ、平和の尊さを痛切に訴え、大ヒットを記録した名作。

飢餓海峡

●7月7日(木) 14:00

●7月24日(日) 14:00



1964年/35ミリ/モノクロ/
182分/東映

監督:内田吐夢

出演:三浦達夫、左幸子

台風のために青函連絡船が沈没、多くの犠牲者を出した。ところがこの事件に絡んで殺人事件の犯人が逃亡。老刑事は10年以上に渡って犯人を追い続ける。水上勉の実話に基づいた小説の映画化で、内田吐夢監督の渾身の傑作となっている。

血槍富士

●7月9日(土) 17:00

●7月22日(金) 19:00



1955年/35ミリ/モノクロ/
94分/東映

監督:内田吐夢

出演:片岡千恵蔵、月形龍之介

若様・小十郎のお供と一緒に江戸に向かうことになった槍持ちの権八。忠義者の権八は若様の酒好きが気がでない。しかし権八のいない間に酒屋に入った若様は酒乱となり、他の武士達と斬り合いを演じてしまう。小津安二郎や清水宏といった名監督が制作協力し、封建制批判を強く打ち出した名作となっている。

赤穂浪士

●7月10日(日) 14:00

●7月21日(金) 14:00



1956年/35ミリ/カラー/
151分/東映

監督:松田定次

出演:市川右太衛門、片岡千恵蔵

1951年に設立された東映が、設立5周年を記念して製作したオールスター・キャスト映画。物語もヒット映画の常套手段であった「赤穂浪士もの」だが、新藤兼人の脚本は単なる忠臣義国でなく、個々の苦悩を細かく描き、主役の重厚な演技と相まって「赤穂浪士もの」の代表作となった。

火宅の人

●7月8日(金) 19:00

●7月16日(土) 17:00



1986年/35ミリ/カラー/
132分/東映

監督:深作欣二

出演:緒形拳、いしだあゆみ

先妻に先立たれた桂一雄は、後妻にヨリ子をもらう。ところが一雄は女優の恵子と浮気をし同棲を始める。浮気の絶えない恵子に嫌気がさした一雄は別居を始めるのだが、放浪の作家・桂一雄の名作を深作欣二が見事に映画化。文芸作品とは思えない娯楽性豊かな作品。

鳳城の花嫁

●7月10日(日) 11:00

●7月22日(金) 14:00



1957年/35ミリ/カラー/86分/東映
*東京国立近代美術館フィルムセンター収蔵作品

監督:松田定次

出演:片岡千恵蔵、三島雅夫

鳳城の若殿・松平源太郎はもう三十歳なのに、まるで結婚する気がない。親にせつめられた源太郎は、自分で嫁を探すとして単身で江戸に向かう。そして井筒屋の居候になるのだが、そこには評判の美人姉妹が居た。日本初のカラードラマとして製作された記念すべき作品で、以後映画は大型スクリーンの時代を迎える。

旗本退屈男

●7月13日(水) 14:00

●7月17日(日) 15:00



1958年/35ミリ/カラー/
108分/東映

監督:松田定次

出演:市川右太衛門、桜町弘子

東映の重役であり片岡千恵蔵と並ぶ大スター市川右太衛門の、〈映画出演300本記念〉として製作された作品。また本作は市川右太衛門のトレードマークとも言える「退屈男」シリーズの戦後の14作目であり、オールスターによる絢爛たる時代劇絵巻である。

新吾十番勝負・総集編

●7月14日(木) 14:00

●7月17日(日) 11:00



1959年～60年/35ミリ/カラー/103分/東映
*東京国立近代美術館フィルムセンター収蔵作品

監督:松田定次、小沢茂弘(第二部のみ)

出演:大川橋蔵、大友柳太朗

八代将軍・吉宗のかくし子として生まれた剣の達人・葵新吾が、吉宗から諸国通行勝手の許可を得て諸国を回り、波瀾万丈の活躍をする娯楽時代劇の決定版。大川橋蔵の魅力が溢れる人気シリーズとなった。本作は第一部と第二部をまとめた総集編である。



桜町弘子 シネマトーク「東映チャンバラの魅力」

7月17日(日) 14:00 桜町弘子
司会:古山和子(シネマコーディネーター)

*講演は有料で、当日15時からの「旗本退屈男」とセット料金です。
*開場は開演の30分前。前売り券はありません。

桜町弘子プロフィール

56年東映第三期ニューフェイス。俳優座にて修業。同期に里見浩太郎、大川恵子。57年松原千浪の芸名で「大江戸喧嘩囃子(けんかまとい)」でデビュー。同年桜町弘子に改名、「ふたり大名」(57年、大川橋蔵二役)にお姫様役で出演。チャンバラ映画全盛期にあつて、誰にでも親しまれる日本の美人として人気を博し、数多くのプログラムピクチャーに出演。大川恵子、丘さとみと共に「東映城の3大お姫様」と称される。主演作として「骨までしゃぶる」(66年、加藤泰監督)。好きな作品は「風の武士」(64年)、「新吾十番勝負」。京都市民映画祭助演女優賞受賞。

関の彌太ッペ

●7月15日(金) 14:00

●7月23日(土) 11:00



1963年/35ミリ/カラー/
84分/東映

監督:山下耕作

出演:中村錦之助、十朱幸代

渡世人の彌太は偶然、みなし子のお小夜を助け、お小夜を実家に届けると名前も告げずに去っていった。10年後美しく成長したお小夜は命の恩人の彌太を探す。しかしヤクザ渡世を生きる彌太は命を狙われる身の上だった。ヤクザでありながら純粋な気持ちでなくさない彌太を中村錦之助が好演する感動作。

特集 東映アニメーション特集

日本の劇場アニメーションの歴史の中心として、宮崎駿や高畑勲など現在のアニメーションを支える人材を輩出した東映動画の特集

7月27日(水)～8月7日(日) * 休館日・休映日除く
観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

* 定員制・各回入替制
* チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
* 障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は半額。(手帳の提示が必要です)
* 幼児は無料(必ず付き添いの方と一緒にご入場下さい)

五番町夕霧楼

●7月7日(木) 19:00
●7月16日(土) 14:00



夕子は実家が貧しいために、京都五番町の夕霧楼に身売りに出される。そこで夕子は幼なじみで、今は修行中の僧である正順と再会する。世間に背を向けて生きてきた正順だが、夕子とは心を通わせるのだった。「金閣寺」放火事件を題材とした水上勉文学の映画化。

1963年/35ミリ/カラー/
137分/東映
監督: 田坂具隆
出演: 佐久間良子、河原崎長一郎

青春の門

●7月9日(土) 14:00
●7月23日(土) 14:00



大正時代の北九州・筑豊を舞台に主人公・伊吹伸介が成長する姿を描いた作品。伸介の父重蔵は男気のある炭坑夫だったが、事故のため死亡。母のタエと伸介は重蔵のライバルだった竜五郎が面倒を見る。原作は五木寛之で当時の筑豊を最も良く表現した作品としても知られる。

1981年/35ミリ/カラー/
140分/東映
監督: 深作欣二、蔵原惟繕
出演: 佐藤浩市、松坂慶子

鉄道員〈ぽっぽや〉

●7月9日(土) 11:00
●7月24日(日) 11:00



北海道のローカル線で駅長を勤める乙松はもうすぐ定年を迎えようとしていた。仕事一筋の彼は娘の死に際にも立ち会えなかった。そんな時不思議な少女が乙松の前に現れる。浅田次郎の同名の短編小説の映画化で、乙松役を高倉健が見事に演じている。

1999年/35ミリ/カラー/112分/
「鉄道員〈ぽっぽや〉」製作委員会
監督: 斎藤康男
出演: 高倉健、大竹しのぶ

反逆児

●7月14日(木) 19:00
●7月18日(月・祝) 11:00



戦国時代、織田と武田に挟まれた徳川は、織田信長側につく。家康の子・信康は信長の娘婿となり、武田の軍を打ち破る功績を挙げる。それでも信長は信康を次第に疎んじるようになる。悲運の武将・信康の生涯を時代劇の巨匠伊藤大輔監督が描いた傑作。

1961年/35ミリ/カラー/
110分/東映
監督: 伊藤大輔
出演: 中村錦之助、松岡弘子

十三人の刺客

●7月15日(金) 19:00
●7月23日(土) 17:00



明石藩主は將軍の弟であることを盾に、非道な限りを尽くしていた。明石藩主が次期老中となる前に、密かに刺客が送られる。13人の刺客は参勤交代の際を狙い撃つを巡らせるのだった。東映が任侠路線に移行する過程で生まれたいわゆる「集団抗争時代劇」の傑作。

1963年/35ミリ/モノクロ/
125分/東映
監督: 工藤栄一
出演: 片岡千恵蔵、嵐寛寿郎

東映の短編アニメ

●7月27日(水) 14:00
●8月6日(土) 11:00



こねこのらくがき
1957年/35ミリ/モノクロ/
13分/東映教育映画部
監督: 数下泰司

こねこのスタジオ
1959年/35ミリ/カラー/
16分/東映教育映画部
監督: 森やすじ

夢見童子
1958年/35ミリ/カラー/
15分/東映教育映画部

東映動画のマスコット・キャラクターのかわいいこねこが大活躍する「こねこのらくがき」、江戸時代の伝承童話「夢見童子」、民話をモダンにアレンジした「ねずみのよめいり」など可愛らしくて楽しい東映の短編アニメ作品集です。



ねずみのよめいり
1961年/35ミリ/カラー/
13分/東映動画
監督: 白川大作

こぎつねコンとこだめきボン
1989年/35ミリ/カラー/
21分/東映教育映画部

わんぱく王子の大蛇退治

●7月28日(木) 14:00
●8月6日(土) 17:00



1963年/35ミリ/カラー/
86分/東映動画
監督: 芹沢有吾

日本神話のササノオノミコトの伝承を題材にした冒険活劇で、初期の東映動画の中でも特に評価の高い傑作です。腕白少年のササノオはウサギのアカハナをおもに亡くした母のイザナミに会うために、死者が住むというヨミの国を探す旅にでます…。

白蛇伝

●7月28日(木) 11:00
●8月6日(土) 14:00



1958年/35ミリ/カラー/
79分/東映動画
監督: 数下泰司

日本初のカラー長編アニメーションであり、東映動画の長編第一作。戦後日本アニメの出発点ともなった作品です。シュゼンという青年に命を救われた白蛇が、パイニャンと名乗り、人間の姿となって彼の前に現れます。二人は恋に落ちますが…。

わんわん忠臣蔵

●7月29日(金) 11:00
●8月7日(日) 11:00



1963年/35ミリ/カラー/
81分/東映動画
監督: 白川大作

原案、構成に漫画家の手塚治虫を起用した作品で、物語はタイトル通り動物版忠臣蔵です。母犬のシロを森のギャング、トラのキラと手下のキツネ、アカミにだまし討ちで殺されたロックは、母の敵と森の平和を守るため、四十七匹の犬達と立ち上がります…。

太陽の王子 ホルスの冒険

●7月29日(金) 14:00
●8月7日(日) 14:00



1968年/35ミリ/カラー/
82分
東映動画監督: 高畑勲

現在、スタジオ・ジブリで活躍する高畑勲が演出、また原画や美術に宮崎駿も参加した大人から子どもまで楽しめる東映動画の名作です。遠い北の国に住む少年・ホルスはある日「太陽の剣」を手に入れます。その後魔魔の誘いを断ったホルスは崖から突き落とされ…。

長靴をはいた猫

●7月30日(土) 11:00
●8月5日(金) 14:00



1969年/35ミリ/カラー/
80分/東映動画
監督: 矢吹公郎

童話作家のシャルル・ペローの原作を作家の井上ひさしが脚色、ギャグの監修に作家の小林信彦も参加した楽しい作品。ネコのペロは心優しいピエールと出会います。街に出た二人はローザ姫に会い、彼女に一目惚れしたピエールのためにペロは一計を案じます…。

どうぶつ宝島

●7月30日(土) 14:00
●8月5日(金) 11:00



1971年/35ミリ/カラー/
78分/東映動画
監督: 池田宏

ステューブ・ソンの名作「宝島」を原案に、海賊達をすべて動物に置き換え、コミカルに描いた冒険アニメの傑作です。海と冒険にあこがれるジム少年は親友のネズミのグラン、少女・キャッシーと共に、海賊のシルバー船長相手に宝の争奪戦を繰り広げます。

ながぐつ三銃士

●7月30日(土) 17:00
●8月4日(木) 14:00



1972年/35ミリ/カラー/
53分/東映動画
監督: 勝間田具治

「長靴をはいた猫」の主人公・ペロが活躍する冒険活劇の第二弾。この作品は完全なオリジナル・ストーリーで、アメリカ西部が舞台となっています。相変わらずドジな殺し屋達に追われてアメリカ西部の町までやってきたペロは、父を失った少女アニーと出会います。

龍の子太郎

●7月31日(日) 11:00
●8月4日(木) 11:00



1979年/35ミリ/カラー/
75分/東映動画
監督: 浦山桐郎

民話をもとにした松谷みよ子の原作を「キューボラのある街」などで知られる劇映画の名匠、浦山桐郎が演出した感動的なアニメーション。龍となった母親から自分が生まれたことを知った太郎は、母に会うため龍が住むという湖に向かい旅立ちます…。

森は生きている

●7月31日(日) 14:00
●8月3日(火) 14:00



1980年/35ミリ/カラー/
65分/東映動画
監督: 矢吹公郎

原作はロシアの児童劇のアニメーション化。音楽はクリフ・オルフ作曲、ドミトリエフ指揮のレニングラード交響楽団が担当しています。大晦日の日、アニーはたき木給いを手伝ってくれた兵士に森一番のモミの木を教えます。それを知った王女は…。

7月

上映スケジュール

1 金	休 映 日	
2 土	休 映 日	
3 日	[14:00] 講演-芦屋小雁 シネマトーク・ライブ「喜劇映画のすべて」 [15:30]「続々々番頭はんと丁稚どん・チャンポン旅行」	
4 月	休 館 日	続々々番頭はんと丁稚どん・チャンポン旅行
5 火	休 映 日	
6 水	[14:00] ひめゆりの塔	
7 木	[14:00] 飢餓海峡 [19:00] 五番町夕霧楼	
8 金	[14:00] 冷飯とおさんとちゃん [19:00] 火宅の人	
9 土	[11:00] 鉄道員「ぼっぼや」 [14:00] 青春の門 [17:00] 血槍富士	
10 日	[11:00] 鳳城の花嫁 [14:00] 赤穂浪士	
11 月	休 館 日	
12 火	休 映 日	
13 水	[14:00] 旗本退屈男	
14 木	[14:00] 新十番勝負・総集編 [19:00] 反逆児	
15 金	[14:00] 関の彌太ッペ [19:00] 十三人の刺客	
16 土	[11:00] ひめゆりの塔 [14:00] 五番町夕霧楼 [17:00] 火宅の人	
17 日	[11:00] 新十番勝負・総集編 [14:00] 桜町弘子シネマトーク [15:00] 旗本退屈男	
18 月(祝)	[11:00] 反逆児 [14:00] 冷飯とおさんとちゃん	
19 火	休 館 日	
20 水	休 映 日	
21 木	[14:00] 赤穂浪士	
22 金	[14:00] 鳳城の花嫁 [19:00] 血槍富士	
23 土	[11:00] 関の彌太ッペ [14:00] 青春の門 [17:00] 十三人の刺客	
24 日	[11:00] 鉄道員「ぼっぼや」 [14:00] 飢餓海峡	
25 月	休 館 日	
26 火	休 映 日	
27 水	[14:00] 東映の短編アニメ	
28 木	[11:00] 白蛇伝 [14:00] わんぱく王子の大蛇退治 どうぶつ宝島	
29 金	[11:00] わんわん忠臣蔵 [14:00] 太陽の王子 ホルスの大冒険	
30 土	[11:00] 長靴をはいた猫 [14:00] どうぶつ宝島 [17:00] ながぐつ三銃士	
31 日	[11:00] 龍の子太郎 [14:00] 森は生きている	
8/1 月	休 館 日	
2 火	休 映 日	
3 水	[14:00] 森は生きている	
4 木	[11:00] 龍の子太郎 [14:00] ながぐつ三銃士	
5 金	[11:00] どうぶつ宝島 [14:00] 長靴をはいた猫 龍の子太郎	
6 土	[11:00] 東映の短編アニメ [14:00] 白蛇伝 [17:00] わんぱく王子の大蛇退治	
7 日	[11:00] わんわん忠臣蔵 [14:00] 太陽の王子 ホルスの大冒険	

東映映画史

東映アニメーション特集



続々々番頭はんと丁稚どん・チャンポン旅行



青春の門



ひめゆりの塔



どうぶつ宝島



龍の子太郎



芦屋小雁

昭和8年、京都生まれ。TVデビューはNHKの実験放送。以後、週10本のレギュラー番組を持つ人気ぶりであり、世を風靡し、現在も「小雁倶楽部」を主宰。舞台公演の喜劇作品を生み出し、多くの喜劇人に慕われている。映画出演は約40本。著書に「シネマで夢を見てたい」他。

特別企画
芦屋小雁
シネマトーク・ライブ

日時

2005年
7月3日(日)

14時00分開演(13時30分開場)

芦屋小雁シネマトーク・ライブ

「喜劇映画のすべて」

映画上映

続々々番頭はんと丁稚どん・チャンポン旅行

入場料:1500円(前売り1200円)

※障がい者及び高齢者割引なし

●映画上映と併せて1プログラム

前売券は、5月21日(土)より発売

チケットぴあ(電話0570-02-9999)、
ファミリーマート、セブン・イレブン
Pコード:604-655アートリエ
(電話281-0103、博多リ(レイン)地下2階)

映像ホール・シネラ受付

お問合せ:福岡市総合図書館

映像資料課

Tel:092-852-0608

シネマトーク・ライブ 14:00~

オール・ザット・コメディ!!

芦屋小雁氏は数多くの貴重なフィルムを所蔵する個人コレクターとしても知られています。そのコレクションから選りだしたとっておきの喜劇映画を引っさげて、いよいよ福岡に!!。古き良きハリウッドの三大喜劇王、チャップリン、キートン、ロイドの抱腹絶倒シーン等を参考上映しつつ、人情味溢れる語り口で喜劇映画の魅力をたっぷり紹介する至福の90分。



主催:映像ホール・シネラ実行委員会 福岡市総合図書館
提供:西南学院大学「マスメディア実践」 協力:朝日新聞西部本社



I N F O R M A T I O N

■ ホームページ「うえぶシネラ」を開設しました。

今月の特集記事や、上映案内など、映像ホール・シネラの情報を掲載しているほか、シネラニュースもダウンロードできます。また、メールマガジンの会員も募集しています。是非、ご覧ください。

●うえぶシネラ
アドレス

<http://www.cinela.com>

■ ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄)

*詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

■ 公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので、長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力いただきますようお願いいたします。

■ 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄:西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス:天神~都市高速線由~福岡タワー南口(所要時間:昼間で約20分)※博多駅~都市高速線由~福岡タワー南口(所要時間:昼間で約25分)福岡タワー南口バス停から徒歩3分。いずれも、昼間は10~15分間隔で運行されていますので、大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

福岡市総合図書館
映像ホール・シネラ

〒814-0001
福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館
(代表)092(852)0600
映像資料課 092(852)0608
FAX 092(852)0609
福岡市総合図書館ホームページアドレス
<http://toshokan.city.fukuoka.jp/>